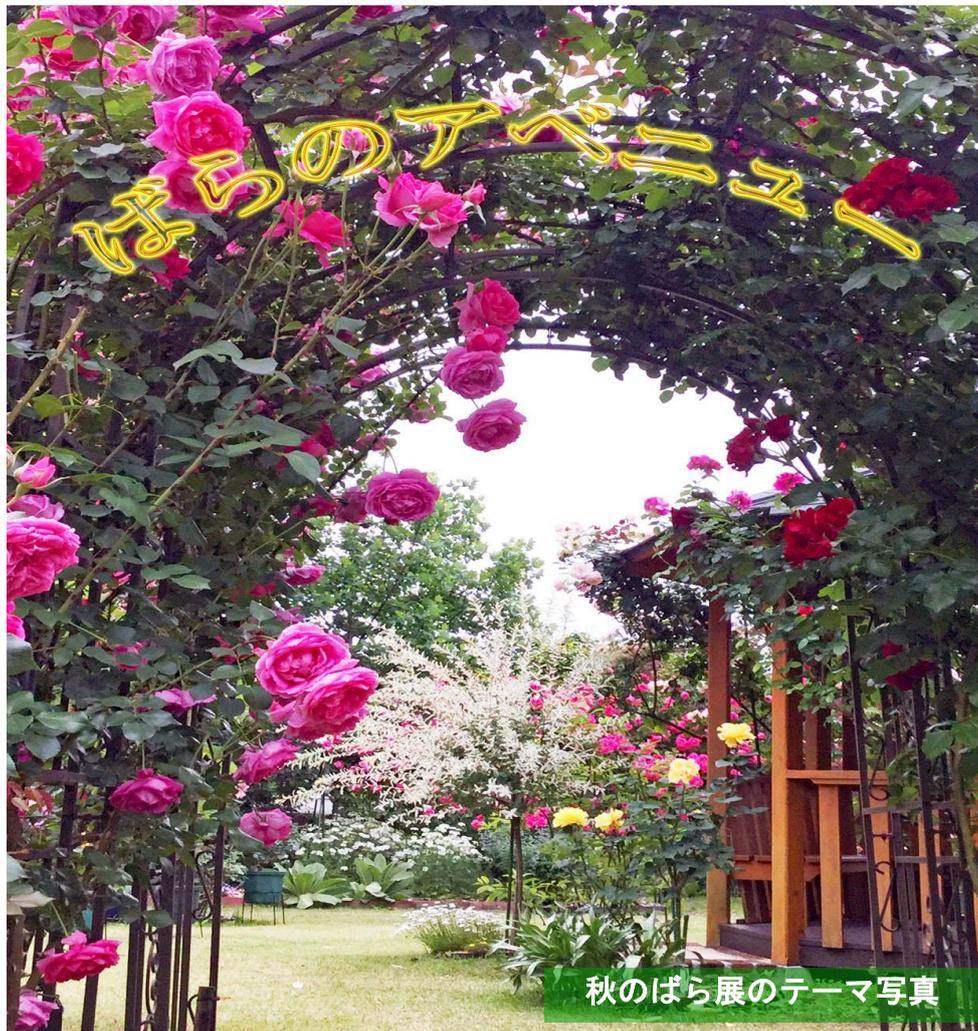


# 薔薇便り

No.247

2021年 10・11・12月号



## 目次

事務局だより	1~2
ばら会と私	3
花庭訪問	4
熊本ばら会のあゆみ	5~8
ちょっといっぷく	9~10
編集後記	11



## 事務局だより



### 秋のばら展中止のお知らせ

理事打合せの結果、秋のばら展を中止することにいたしました。  
開催の予定で進めていましたが残念です。

ばら展の開催では、鶴屋百貨店様に全面的にご支援頂いていますので、1人でも多くご来場頂けることで、鶴屋百貨店様に恩返しできるように頑張ってきました。しかし、このところのコロナ感染者数の状況と収束の見通しがつかないことから、開催しても来場者が見込めないのではないかと判断です。

来年のばら展は、コロナ禍も収束していることを願って、以下の日程で予定しています。

来年は鶴屋百貨店様も創業70周年を迎えられます。同じく熊本ばら会も発足から70年を迎えます。鶴屋百貨店様には昭和29年に開催した第1回ばら展からお世話になっています。70周年をお祝いする上でも盛大にばら展を開催できるように計画を進めてまいります。

#### 2022年の開催予定

春のばら展 5月6日(金)～8日(日)  
テーマ 「平和のばら」 沖縄復帰50年

秋のばら展 10月21日(金)～23日(日)  
テーマ 「熊本ばら会70周年記念」



### 令和3年度 第4回、第5回ばら教室中止

10月10日(日)開催の第4回ばら教室と11月21日(日)開催の第5回ばら教室を中止します。

新型コロナウイルス・デルタ株の感染状況から、会員の安全を第一に考えた措置です。何卒ご理解とご協力の程お願い致します。

尚、第5回ばら教室は状況により開催できる可能性もありますので、開催となった際は別途ご連絡いたします。

また、2022年1月30日(日)に予定しています「剪定教室」「接ぎ木教室」は行う予定です。(詳細は会報新年号でお知らせします)



## 2022年ローズカレンダーのご案内

行事中止でご辛抱頂いている会員全員に日本ばら会2022年カレンダーを配布することにしました。

尚、1部以上必要な方は同封のはがきで購入予約をお願いいたします。

【価格】 ¥900- (日本ばら会会員価格での販売です)

【予約】 購入の方は同封の「連絡はがき」で予約ください。  
はがきは10月15日(金)までに投函ください。

【受渡】 配布カレンダーは会報と同送します。  
購入分は払込用紙を入れて宅配便などでお送りします。



■サイズ 縦23センチ 横31センチ  
使用時は縦が46センチ



## 第71回 九州ばら懇話会「福岡大会」のおしらせ

当初は2020年5月に開催予定でした九州ばら懇話会福岡大会が、コロナ禍で2年間中止となってしまいましたが、来年は開催の方向で進められています。

まだ開催決定となったわけではありませんが、熊本ばら会として大まかな参加希望者数を把握するために、参加のご意向を確認させていただきます。

同封の「連絡用はがき」で返信お願いいたします。

はがきは10月15日(金)までに投函ください。

尚、ご回答は大まかな参加者数の把握のためですので、参加を予約するものではありません。

担当の福岡バラ会から詳細連絡は入っていませんが概要は以下のとおりです。

開催年月 2022年 5月  
会 場 福岡市  
内 容 総会、ばら園ツアー



# ばら会と私

No. 32 前田 宣重

もう17年も経ってしまうのか！と驚きました。芦北地域振興局の農業改良普及センターにバラの土壌について聞きに行ったことを思い返しでのことです。

家業が、造園業、生花園芸店を営んでいたにも関わらずバラと言えば、切り花か野ばらくらいしか知らなかった私が、なぜそんなことをしたのかというと・・・

30代前半だった私が熊本市内の庭の手入れに行ったお宅に偶然、ほんとに偶然！やたらバラに詳しい青年がバラの植え込みをしていました。半年くらいしてから、県民運動公園のバラ園植え替えの仕事が舞い込んで来ましたが、素人の私が相談できるただ一人の知り合いはあのバラオタクの青年だけでした。彼のおかげで無事にバラ園が再生できました。

そのことがきっかけで彼とバラに関わる仕事をやってみようということになり、イギリスの世界的な育種家ピーターさんからオールドローズの苗を300本位購入しました。パテントがなく、あまり出回ってない品種を厳選して芦北の畑に親株として植えました。

イングリッシュローズの日本販売元で修業し、高度なバラ生産技術を持っている青年とダッグを組み業界に切り込む勢いでしたが、問題がありました。芦北の畑は条件が悪く改善が必要でした。そこで相談に行ったのが芦北地域振興局の農業改良普及センターでした。

その所長は、とても温かく面倒見がいい方で、わざわざ畑まで足を運んでいただき、土壌分析の結果特に問題はない事、台木にはツクシイバラが適していることなどを丁寧に教えていただきました。

所長に紹介いただき農業公園バラ祭りでバラの苗を販売できることになり、冬に裸苗を仕入れて春に売ってみることになりました。

そこでどうしても必要だったのが温室ハウスです。

これも所長の仲介で丁度辞めようとしているバラ農家さんがすごいガラス温室を無償で貸してくれました。青年が毎朝早くから世話をして5月のバラ祭りで売ることができました。

それからエコパーク水俣にバラ園を作ろうと青年を誘い前述のオールドローズコレクションや売れ残ったバラを植えることから始め10年くらい一緒に頑張りました。今では年10万人も来ていただける園に育ってくれました。

青年はその後バラ育種家として独立し、震災やコロナ禍に打ちのめされながらもたくましく頑張っています。

今の私や、エコパーク水俣バラ園があるのは、ことごとく私の誘いに乗ってくれたバラオタクの青年（梅田親祐 理事）、親切すぎる農業改良普及センター所長（守田隆幸（故）熊本ばら会会長）、ばら会諸先輩のお陰です。

住んでいるところが遠いうえ、日曜はほとんど仕事で、会の活動に参加できない事ばかりですが、これからもどうかよろしくお願いします。

# かていほうもん 花庭訪問



ナニワイバラ

道路側のフェンスには、ナニワイバラが誘引されています。20年前、実家からもってきて挿し木でついた、家入家でも一番の古参ばらだそうです。他にも、ロココ、キングローズ、ピエール・ドゥ・ロンサール、スタンダードのうらら、地植え16本、鉢植え9鉢、それに、木々達も、白木蓮、利休梅、レモン、マルハの木等々、草花も、段菊、ニゲラ、ジキタリス、ラベンダー等々、ばらの根元は緑の草花で覆われているのもあります。ばらとのコラボがとても素敵でした。

中でも、南阿蘇に生息しているブルービーです。黒い胴体に鮮やかな縞々模様をまとった、幸せを呼ぶ青い蜂です。毎年7月になると、ラベンダーを目掛けて10日間位滞在してるそうです。香りに寄せられるのでしょうか。幸せを、呼ぶブルービーに会いたいですね。

庭の手入れは、ニームオイルを一週間に2回、木酢液を月に2回、無農薬栽培で、現在研究中とのことでした。これまで、化学農薬に頼っている私には、とても魅力的でした。

庭のコンセプトとして、【ばらと四季の花木、宿根草に囲まれた優雅な生活、まだまだ夢なかば】と、これからの庭作りに心を寄せていらっしやいました。



ラベンダーとブルービー

今回は、菊池郡大津の美咲野団地の西側に位置する、家入小百合さん宅にお邪魔しました。

花庭訪問でお伺いする時は、何時も道路側から、ばらを遠目に見ながら探します。ありました！大きな白木蓮の木の下にばらが見えました。そして、ばらにも負けない、笑顔の家入さんが出迎えて下さいました。

ばら会に入会した11年前【鶴屋のばら展を訪れた際に、ばら栽培についての解かりやすい説明と、何とも言えない素敵な優しい笑顔に、誘われて入会しました。】とのことでした。

接木教室でも、ばら会の方から頂いた穂木を自分で接木して、立派に育てていらっしやいました。一番好きなばらは、【**わか**な】だそうです。



わか

文 二代目やじ・きた



## 熊本ばら会のあゆみ

熊本ばら会は来年発足70年を迎えます。10年ほど前に熊本ばら会の会報のアーカイブを作ろうと顧問の後原 實様からお持ちの会報をお借りしてPDFデータ化をしました。古いものは1970年代の会報もありましたが、歴代会長については記録がありませんでした。その後、後原顧問に古い総会の資料等を調べて頂いて以下のとおりご報告頂きました。

終戦後誕生した「熊本ばら会」 会長 桜井 三郎（熊本県知事）

昭和27年 熊本ばら会から分裂してできた「熊本バラ同好会」発足（現 熊本ばら会）

初代会長 甲斐 武郎（熊本県農業試験場 所長）

2代目会長 昭和50年5月～昭和57年5月 福田 覚（熊本県校長会会長）

昭和51年5月 熊本ばら会に改称

3代目会長 昭和57年5月～平成11年5月 高木 寛

4代目会長 平成11年5月～平成30年7月 守田 隆幸

5代目会長 平成30年8月～ 佐藤 成夫

以下に、2001年（発足50年）の会報178号に後原顧問からご寄稿頂きました「熊本ばら会50年感動の歴史」を再掲載させていただきます。（写真追加挿入）

### 【熊本ばら会50年感動の歴史】

後原 實

始めてばらを植えたのは昭和40年頃です。当時は福岡に住んでおりましたので「福岡バラ会」に入会しました。昭和46年に熊本へ移転してきました。「熊本ばら会」の仲間に入れていただき32年になります。熊本ばら会50年の記録を残すために原稿を書くことになりましたが、入会前の18年間については、先輩の残した言葉や文書から振り返るしかありません。先輩の残した言葉や文書から50年間の歴史をたどって見ました。

終戦まもなく熊本にもばらを愛好する人が集い「熊本バラ会」が誕生しました。当時は社会的に混乱の時でありました。会の運営にもいろいろと問題が生じたのでしょうか、昭和27年「熊本バラ会」が分裂し、「熊本バラ会」と「熊本ばら同好会」の2つのばら会となりました。現在の「熊本ばら会」は「熊本ばら同好会」が母体となっております。「熊本バラ会」は数年後に解散したようです。

ばら会にとって大事な記録となるもの、私にとって心に残っているものを列挙してみました。

●昭和27年6月 鶴屋が誕生

「熊本ばら同好会」は鶴屋誕生の年に発足しましたが、その後、鶴屋には50年に及ぶばら展の会場提供をはじめ、いろいろと会の発展に力をおかしたいただき、今日の熊本ばら会を育てていただきました。

●昭和29年5月 「熊本ばら同好会」第1回ばら展を開催 会場鶴屋

この年から「春のばら展」を毎年開催しています。

当時、会の運営に活動されていた（故）岩崎先輩からお聞きした話では鶴屋社長が文化的催しとして鶴屋の会場提供を快く引き受けていただいたとのことでした。

第1回目を開催した時の会員は9名でした。9名の会員でばら展を実行した先輩たちに脱帽です。

●昭和31年11月 「熊本ばら同好会」が辛島公園に150本のばらを植樹

公園の中央に池があり、その周辺にはフロリバンダとHTの花壇、そして大きなつるばらのアーチがありました。会員総出で32年間手入れをしてきましたが、地下駐車場工事に伴って平成元年の年末に取り壊されました。ばら会の研修場所でもあり、市民へばらの手入れを紹介する会の活動にも大きな役目をしてきました。



●昭和49年6月 「九州山口ばら懇話会」に加入

●昭和49年10月

「秋のばら展」を熊本で初めて開催

この年から「春のばら展」・「秋のばら展」と年2回のばら展を行うことになりました。



●昭和50年5月 エリザベス女王来日記念「日英ローズショー」に参加

「日英ローズショー」は、エリザベス女王陛下のご来日を記念して、英国大使館・日英協会の主催により5月10日から5日間、東京銀座「松屋」に於いて開催されました。

熊本ばら同好会は、会員のばら800本を集めて空輸しました。

開会式典には、皇后陛下、皇太子妃殿下、高松宮妃殿下、秩父宮妃殿下がお成りになり、開会に当っては、日英協会名誉総裁であった秩父宮妃殿下によってテープカットが行われました。

この式典には、現顧問の辛島さんと私が参加させていただきました。

●昭和51年5月 「熊本ばら同好会」を「熊本ばら会」に改称

●昭和53年10月 第12回「全九州山口ばらまつり」熊本で開催 会場鶴屋

皇后陛下 皇太子妃殿下 高松宮妃殿下の御愛培花展示

当時の(故)福田会長 (故)松本副会長は、皇居、東宮御所、高松宮邸へ出向き御愛培花を賜りました。

このばら展には、熊本県・熊本市・熊本県教育委員会・熊本市教育委員会・熊本日日新聞社・NHK九州本部・熊本放送・テレビ熊本から後援をいただきました。

開会に当たっては、沢田県知事・星子熊本市長・中原鶴屋社長、石橋九州山口ばら懇話会長・福田熊本ばら会長によってテープカットが行われました。

このばら展に参加したばら会は、徳山周南ばら会・宇部ばら会・山口ばら会・下関ばら会・門司ばら会・洞海ばら会・福岡ばら会・田川ばら会・久留米ばら会・大川ばら会・佐賀ばら会・長崎ばら会・佐世保ばら会・平戸ばら会・宮崎ばら会・大分ばら会と熊本の17ばら会です。

●昭和54年6月 第32回九州山口ばら懇話会 熊本にて開催

(ニュースカイホテル)

熊本では最初の懇話会総会であったことや、前年に「九州山口ばらまつり」を成功させたこともあって115名の参加がありました。京成バラ園から鈴木省三氏、伊丹ばら園から寺西致知氏も参加され「現在の日本で最大・最高のばらの集い」との賛辞をいただきました。

南アフリカ政府観光局長スワント女史が特別参加され「懇話会参加への感謝の言葉と南アフリカ観光のご案内」がありました。

辛島公園ばら園見学・坂梨(あき)会員、(故)松本会員、後原会員宅のお庭拝見

●昭和60年9月 熊本済生会病院創立50周年記念式典

高松宮殿下ご夫妻が御臨席。当時の(故)高木会長、辛島副会長(現顧問)そして「プリンセス高松」を作出した山口ばら会の河野氏が「プリンセス高松」を20輪ほどもって両殿下をお迎えしました。

●昭和60年10月 「熊本ばら会」は鶴屋「英国展」に協賛し英国のばらを中心に展示しました。

英国スコットランド担当大臣ヤンガー氏ご夫妻がばら展に来場され、ばら展への賛辞と感謝の言葉をいただきました。



●昭和61年6月 第39回九州山口ばら懇話会 熊本にて開催（厚生年金会館）

熊本県農業試験場ばら園見学・深野会員宅のお庭拝見

●昭和62年10月 常陸宮御夫妻御来熊記念ばら展（熊本市植物園）

第32回全国杉の子大会にご出席のためご来熊中の常陸宮殿下御夫妻を歓迎しての記念ばら展を開催しました。

御夫妻はばら展会場にお成りになり、会員の展示したばら一輪一輪の香り等をお楽しみになられ大変喜んでいただきました。

お帰りには植物園玄関前に集まった数千人の見送りの方々の拍手の中、妃殿下は会員手作りのばらの花束を左手に高く掲げられ、お優しい微笑を残されてお帰りになりました。



●平成元年5月 九州市長会協賛ばら展

5月9日から11日まで熊本市において九州市長会が熊本市において開催され、その視察コースに熊本市植物園が予定され、熊本市の要請でばら展を開催しました。

●平成3年6月 第44回九州山口ばら懇話会 熊本にて開催（厚生年金会館）

西山中学校ばら園見学・農業大学ばら栽培施設見学・（故）高木会長宅のお庭拝見

●平成8年6月 第48回九州山口ばら懇話会 熊本にて開催（ニュースカイホテル）

島崎修道院ばら園見学・農業公園ばら園見学・高野会員、正村会員宅のお庭拝見

●平成12年6月 第52回九州山口ばら懇話会 熊本にて開催（阿蘇プラザホテル）

はな阿蘇美・くじゅう花公園見学



## ちよっく いっぱく

肥 後 酔 太 郎

「ガネコン」、「ビーラン」を使用されている方はおられるでしょうか。これはばら作りの新兵器です。「ガネコン」はカナブンのきれいな音《超音波》を発生し、この「ガネコン」を下げた所から5m以内にはカナブンカミキリ虫、ぞう虫等は絶対に近寄らないのです。超音波ですから人間には聞こえません。うるさくないのが特徴です。製品の大きさは卵大。価格は1500円。一方「ビーラン」(Bee Run) ははち類のきれいな音《超音波》を発生し、同じように、この「ビーラン」をぶら下げた所から7m以内にはばら茎ばちを含め、はち類は一切近づきません。製品の大きさは「ガネコン」と同じく卵大。価格は少し高く1800円、同じようなもので300円高い理由はわかりません。ばら茎ばちの被害の方がばらマニアにとってショックが大きいからメーカーがばらマニアの弱みを見て300円高くしたのでしょうか。どちらも単三乾電池1本で1年間有効です。さて使用した結果ですが「ガネコン」をぶら下げたばら園には、この夏一匹のカナブンもきませんでした。6、7m離れた「ぶどう」に被害が集中しました。来年は「ぶどう」にもぶら下げたいと思っています。「ビーラン」の効果も抜群でした。近所のばらは、みんなばら茎ばちの被害で下向いていましたが、私のばら園は一本の被害もなく、上を向いて歩いています………ではなくて咲いています。見学に来た会長さん「肥後さん、あぁたは、ずるかばい、なして、みんなに早く教えんな」とえらい剣幕。「いや、まだテストせんと、みんなに発表されんたい」ととぼけた時はいい気持でした。どこに売っているかって………これは私の寝れない夏の夜の夢でした。あしからず。

※会報アーカイブを見ていて面白い記事を見つけました。冒頭の「ガネコン」「ビーラン」を直ぐにネットで探し回りましたが見つかりませんでした。見つからないはずです。夢だったんですね。肥後 酔太郎さんで誰だろか？(1984年 会報 101号より掲載)



先日植木の剪定をしていてアシナガバチに腕を挿されました。その後同僚は足を挿されました。その同僚は顔をスズメバチに挿されたこともあります。

何か蜂を寄せ付けない物がないかと思っていたところでしたので「ビーコン」に食いついたのです。

食いつきついでにネットで探してみました。

蜂の撃退スプレーはいろいろありますが、蚊取り線香のような線香もありました。

また、スズメバチの攻撃性を抑えてどこかにサラバしてもらう「スズメバチ サラバ」というスプレーもありました。なんか山登りのときに使えそうです。



## 危険なスズメバチを 殺さず追い払う!



有効成分は花の香りの成分で食品添加物にも使われていて安全・安心

スズメバチ忌避剤「スズメバチサラバ」は、スズメバチの攻撃本能を消失させます。最大有効距離は4m。アウトドアレジャーを楽しむ時、家の軒先に巣を作られてしまった時、山林でのお仕事の時など、「スズメバチサラバ」をシュッと吹きかければ、安全にスズメバチを遠ざけることができます。

さて、コガネムシ対策はというと、農薬としては「ダイアジノン粒剤」や「オルトラン粒剤」があります。表土に撒くだけです。

無農薬がよいという方にニームやハーブの効果でコガネムシを寄せ付けない「虫よらず」というものがありました。これも表土に撒いて使います。

物理的に鉢の中にコガネムシが卵を産み付け難くするものとして表土に張るシートがありました。これは熊本ばら会が昔から推奨している人工芝やシュロマットなどを切って鉢に張る方法を商品化したものです。熊本ばら会で特許を取っていたら今頃大金持ち?になっていたかもしれませんね。

(正村)



## 編集後記

(正村)

表紙の写真は中止になった秋のばら展のDMはがき用に予定していたものです。

コロナ禍で行動制限や感染防止策など生活様式が変わってしまいました。そして熊本ばら会もばら展やばら教室を中止することになってしまいました。行事を中止することになったことは残念なことです。熊本ばら会としても感染防止に努めていかなければなりませんので致し方ないことです。せっかく準備した秋のばら展の写真でしたので表紙に載せました。

会報の中身は新しい情報を集めることができなかつたため会報アーカイブの中からピックアップしたものも掲載しました。会報の充実を図らないといけないところですが昔の原稿の再掲載となつてしまい申し訳ありません。

会報のアーカイブは10年ほど前に作成しました。

当時、会で会報を保存しておらず、個人的に保存されているものが残っているだけでした。

昔はガリ版刷りで印刷された会報や個人のワープロで作成された会報で印刷物でしか残っていません。

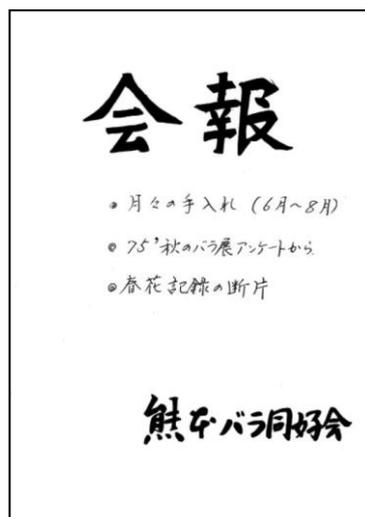
会の歴史でもある会報が無くなってしまう前にPDFデータ化して残したものです。

今後、ホームページの「会員の部屋」での公開も検討したいと思っています。

問題はホームページのリニューアルが進んでいないことです。小生にデザインセンスが無いのが原因です。ウェブデザインに自信のある方はおられませんか。ご協力頂きましたら助かります。

コロナウイルス・デルタ株の感染第5波もピークアウトしたようです。ワクチン接種も進んで来ていますので、このまま収束に向かうことを願っています。

2022年を落ち着いた気持ちで迎えられて、熊本ばら会発足70年をお祝いできたうれしいです。会報も70周年記念で頑張ります。皆様からのご寄稿をお待ちしています。



ばらだより 通巻247号 2021年10・11・12月号  
発行 熊本ばら会  
会長 佐藤 成夫  
事務局 正村 正輝  
会報担当 正村 正輝  
問合せ用Eメールアドレス

[info@kumamoto-rose-society.org](mailto:info@kumamoto-rose-society.org)

熊本ばら会ホームページ

<http://rose-society.life.coocan.jp/>